

# CliqrlgnoreAppFailure パラメータのためのパッチ

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

## 概要

この資料に CliqrlgnoreAppFailure パラメータ失敗を解決する方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

この文書に記載されている情報は CloudCenter 4.8.1.1 に基づいています。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CloudCenter マネージャ ( CCM ) コンソール
- cliqr クラウドmanagement.jar ファイル

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 問題

CloudCenter の例を展開するとき、例を展開しないとき自動的に Virtual Machine ( VM ) を終えます。配備が失敗する時でさえ CloudCenter グローバルなパラメータ CliqrlgnoreAppFailure は終わるべき VM を防ぐのを助けます。ただし、CloudCenter バージョン 4.8.1.1 で、CliqrlgnoreAppFailure パラメータの後でさえも VM の終端は有効になります。

## 解決策

この技術情報は Cloudcenter 4.8.1.1 に特定であり、修正は 4.9 バージョンで提供されます。回避策この不具合、接続されたパッチとの CloudCenter を修正する必要があります。

CCM を修正するためにこれらの手順に従って下さい。

ステップ 1. ルート資格情報との CCM へのログイン。

ステップ 2. /tmp ディレクトリに cliqr クラウドmanagement.jar ファイルをダウンロードして下さい。

/usr/local/tomcat/webapps/ROOT/WEB-INF/lib ディレクトリへのステップ 3.Navigate。

ステップ 4. 古い cliqr クラウドmanagement.jar を別の ディレクトリに移動するか、または cliqr クラウドmanagement.jar.orig としてそれを名前を変更して下さい

ステップ 5. /tmp ディレクトリから /usr/local/tomcat/webapps/ROOT/WEB-INF/lib ディレクトリにダウンロードされるパッチをコピーして下さい

ステップ 6. ファイル cliqr クラウドmanagmeent.jar の名前を変更して下さい。

ステップ 7. cliqruser に cliqr クラウドmanagmeent.jar の権限を変更して下さい:

```
# chown cliqruser:cliqruser cliqr-cloud-managmeent.jar
```

ステップ 8. /usr/local/tomcat/webapps/ROOT/WEB-INF/gateway.properties を編集して下さい。

ステップ 9. この行を追加して下さい

```
#vmware.threadpool.size=30 #windows.bypass.reboot.on.rename=false
```

ステップ 10. Tomcat サービスを再開して下さい。

参照 : SUS-3560